

# PexaPrintServiceGuide (JasperReports) Multi-SubReport

2016/04/06

Atrris

# Multi-SubReport機能について

- 現行のPexaPrintサービスでは、単純なヘッダー・単数明細の階層構造しかサポートしていませんでした。
- 今回のPexaPrintサービスの機能拡張において、複数明細・多段階明細構造の帳票のプリントをサポートするようになりました。
- 本機能は、JasperReports4.6, JasperReports6.2で動作確認を行いました。
- Pexa5.0.1以降で有効です。
- PexaWorksでは現状でサポートの予定はありません。
- 但し、今まであったSVF(ウイングアーク社製)サポートは一旦廃止とします。
  - 要望があったときは、サポート復活の可能性はあります。
  - テスト環境がないので、そのときは、テスト用のSVFを準備してもらう必要があります。
  - 但し、単純なヘッダー・単数明細の階層構造のみのサポートとなります。

# Multi-SubReport機能 サービスの記述について

- サービス的には、特に変更はありません。
- プリント対象のインスタンスの明細リスト現象型は、MultipleObservationImplになっている必要があります。
- Ptype定義で複数可を指定必須です。

# Multi-SubReport機能 Print定義記述について

- src/print/service内の\*.print(プリント定義プロパティファイル)において、ヘッダー・多段複数明細構造を指定することができます。
- 今までと同様で、明細名の先頭に“\_”アンダースコアがあるものはSubReportとして認識されます。先頭のアンダースコアがない明細はヘッダ下に1個のみ指定できます。
- 例: 先頭の明細でSubReportを使用しない例。ヘッダー・1個の明細(非SubReport)・2個の明細(SubReport)・先頭の明細に2つの明細(SubReport)がリンク(出力例1)

```
{field
  生成日__yyyy/MM/dd PRINT.CreateDate
  {Detail
    顧客コード PRINT.PrintDetailList.CustomerNo/顧客コード
    ...
    {SubDetail
      製品コード PRINT.PrintDetailList.CMPOrderDetailList.SKUNo/SKUコード
      ...
      {SubAUser
        AUSER PRINT.PrintDetailList.CMPOrderDetailList.ACCEPTUsersList.AcceptUserNo/OperatorName
        ...
      }
      {SubOUser
        OUSE RPRINT.PrintDetailList.CMPOrderDetailList.OperateUsersList.OperateUserNo/OperatorName
        ...
      }
    }
    {SubHist
      出庫処理区分 PRINT.PrintDetailList.CMPOrderHistList.出庫処理区分
      ...
    }
  }
}
```

# Multi-SubReport機能 JRXMLの作成について

- 前頁の例の場合、メインのjrxmlと4個のSubReport用jrxmlを作成する必要があります。
  - メインjrxml
    - Print\_CMPOrderHeaderSubReport01.jrxml
  - SubReport用jrxml(4個)
    - Print\_CMPOrderHeaderSubReport01\_SubDetail.jrxml
    - Print\_CMPOrderHeaderSubReport01\_SubAUser.jrxml
    - Print\_CMPOrderHeaderSubReport01\_SubOUser.jrxml
    - Print\_CMPOrderHeaderSubReport01\_SubHist.jrxml
- 作成方法としては、メインjrxmlを作成しながら、同時にSubReport用のjrxmlを作成する方法がありますが、SubReportが複数ある時は、先にSubReport用jrxmlを作成したほうがいいのではと思います。
- サンプル帳票から、どの部分をSubReportにするかの調査がまず必要になります。(SubReportのサイズの決定のため)

## Multi-SubReport機能 SubReport用JRXMLの作成について

- SubReport用jrxmlは作成時,ReportプロパティのAdvancedタブで、外周のMarginを0にします。
- バンドは、ColumnHeader、Detailなどの必要バンド以外を削除します。
- Reportは必要最小限度のサイズで作成します。

# Multi-SubReport機能 SubReport追加について

- Detilバンド内にSubReportを追加する場合は、Detailバンド内のstatic text text fieldのStretchタイプをNo Stretchにする必要があります。また、該当Text FieldはStrech With Overflowをoffにします。
- SubReport追加時、SubReportが1行ならば、PositionタイプをFix RelativeToTopまたは、Floatを指定します。2行目の場合は、Floatを指定する必要があります。
- 追加したSubReportがさらにSubReportを呼ぶ場合は、SubReportのクラスファイルパスを伝えるためにパラメータの編集プロパティを設定する必要があります。
  - 追加時のSubReportプロパティ編集のSubReportタブのedit ParametersボタンでParameter編集ダイアログを開き、以下のパラメータセットを追加します。
    - patameter name           SUBREPORT\_DIR
    - parameter expression    \${SUBREPORT\_DIR}
  - SubReportタブのExpression定義に以下のようにSubReportファイル名記述します。  
**`${SUBREPORT_DIR} + "Print_CMPOrderHeaderSubReport01_SubDetail.jasper"`**
  - SubReportタブのData Source Expressionにはデータの供給元を記述しますが、ヘッダーからSubReport明細にデータ供給する場合は以下のように記述します。(次ページのような定義の場合使用)  
**`((pexa.ext.share.service.print.jasper.JRPexaDatasource)${REPORT_DATA_SOURCE}).subDataSource("_SubDetail")`**
  - 明細からSubReport・SubReportからSubReportの場合は、以下のように記述します。  
**`$_SubAUser`**

# Multi-SubReport機能

## Print定義記述について(明細はSubReport)

- 先頭の明細でSubReportを使用する場合。ヘッダー・2つの明細 (SubReport)・先頭の明細に3つの明細 (SubReport) がリンク (出力例 2)

```
{field
  顧客コードPRINT.CustomerNo/顧客コード
  ...
  {_SubDetail
    製品コードPRINT.CMPOrderDetailList.SKUNo/SKUコード
    ...
    {_SubAUser
      AUSERPRINT.CMPOrderDetailList.ACCEPTUsersList.AcceptUserNo/OperatorName
      ...
    }
    {_SubOUser
      OUSERPRINT.CMPOrderDetailList.OperateUsersList.OperateUserNo/OperatorName
      ...
    }
    {_SubA2User
      A2USERPRINT.CMPOrderDetailList.ACCEPT2UsersList.AcceptUserNo/OperatorName
      ...
    }
  }
  {_SubHist
    出庫処理区分PRINT.CMPOrderHistList.出庫処理区分
    ...
  }
}
```



# 出力例1

## Print\_CMPOrderHeaderSubReport01

2016/04/06

顧客コード	顧客名	受注処理区分	作成日
03000	日本電機	引当済	2012/10/29

### CMPOrderDetail

製品コード	製品名	備考	発注数
01000	うちわ	Produced CMPShipDetail	10

名前	Status
test	設定済み
sys2	設定済み

01002	マウス	Produced CMPShipDetail	10
-------	-----	---------------------------	----

名前	Status
sys3	設定済み
account2	設定済み

顧客コード	顧客名	受注処理区分	作成日
08000	庄内電子	引当済	2012/10/30

### CMPOrderDetail

製品コード	製品名	備考	発注数
S0007X	SKU07X	SSSSSS	12

### CMPOrderHistList

出庫処理区分	履歴内容	Remark
出庫指示	新規生成	
出庫指示	新規生成	

2016/04/06 15:48:38

1 / 17

## 出力例2

### Print\_CMPOrderHeaderSubReport02

顧客コード	顧客名	受注処理区分	作成日
0500ABCDE	津軽電子	引当済	2012/10/30



#### D明細リスト

CMPOrderDetail			
製品コード	製品名	備考	発注数
S0010	SKU10_x	Produced CMPShipDetail	10
名前	Status	名前(0)	Status(0)
sys2	設定済み	sys5	設定済み
S0015	SKU15	Produced CMPShipDetail	200

CMPOrderHistList		
出庫処理区分	履歴内容	Remark
出庫指示	FFFF	BBBB
出庫指示	JJJJ	PPPPP
出庫指示	AF OK AF H OKxxxxx	

# サンプルファイル

- 今回使用した\*.jrxml, \*.print, \*.serviceファイルおよび出力例のPDFファイルは、PexaWikiの下記URLに圧縮して格納してあります。

<http://pexa.atrris.com/pwdemo/jasperreports/sampleSubReport.zip>